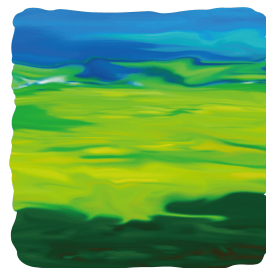


持てるすべてを「いのち」に向けて。
Dedicated to sustaining all life.

2025年度第3四半期 決算概要説明資料



NORINCHUKIN

農林中央金庫

2026年2月18日

- 経常利益は974億円、純利益は992億円に改善。自己資本比率は、引き続き健全な水準を維持
- 市場ボラティリティの高い環境下、将来の収益性向上に向けたポートフォリオのリバランスも検討する中で、2025年度通期純利益見通し（300～700億円程度）を維持
- 2026年度通期については純利益500～1,000億円程度の見通し

■ 収益

【連結】

(単位：億円)

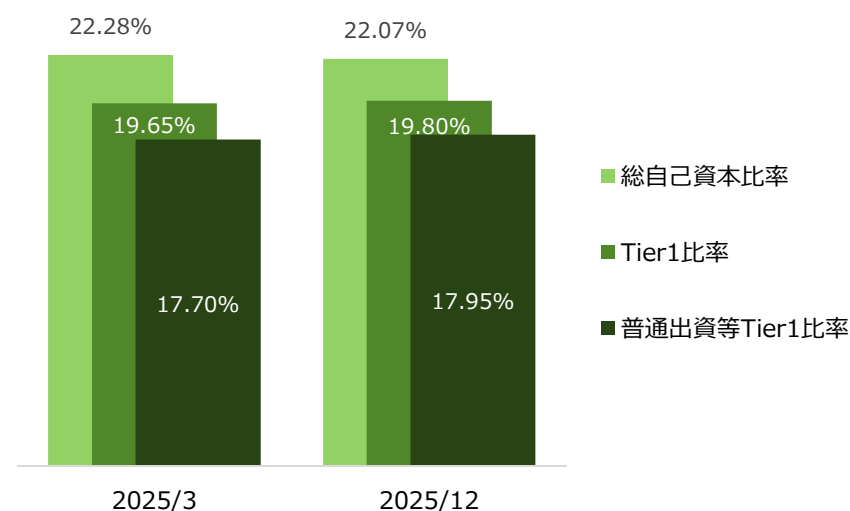
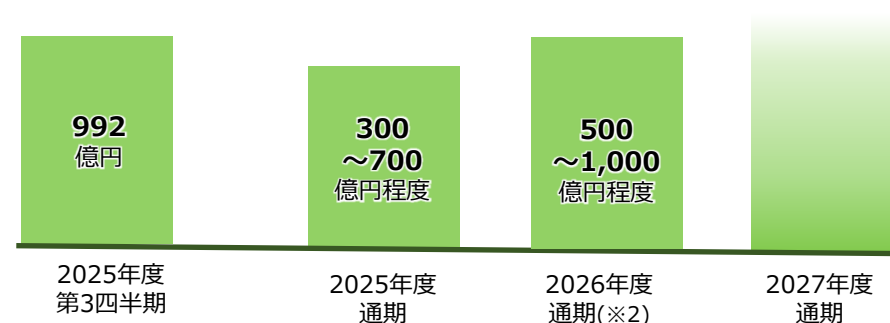
	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
経常利益 又は経常損失(▲)	▲ 13,798	974	14,772
純利益 又は純損失(▲)	▲ 14,145	992	15,137

■ 自己資本比率（バーゼルⅢ国際統一基準※1）

【連結】

	2025年3月末	2025年12月末	増減
普通出資等Tier1比率	17.70%	17.95%	0.25%
Tier1比率	19.65%	19.80%	0.15%
総自己資本比率	22.28%	22.07%	▲ 0.21%

■ 収支イメージ（連結）



※1 バーゼルⅢ最終化ベース

※2 見通しの前提となる主な金融指標(2027年3月末時点) 本邦政策金利：1.25% 米国政策金利：3.50% ドル円為替：150円程度

- 安定的な黒字と強固な収益基盤の確立に向けた取組みを進展し、連結純利益は992億円に改善
- 連結純利益と単体純利益の差は676億円、主因は持分法投資損失の計上※1

【連結】

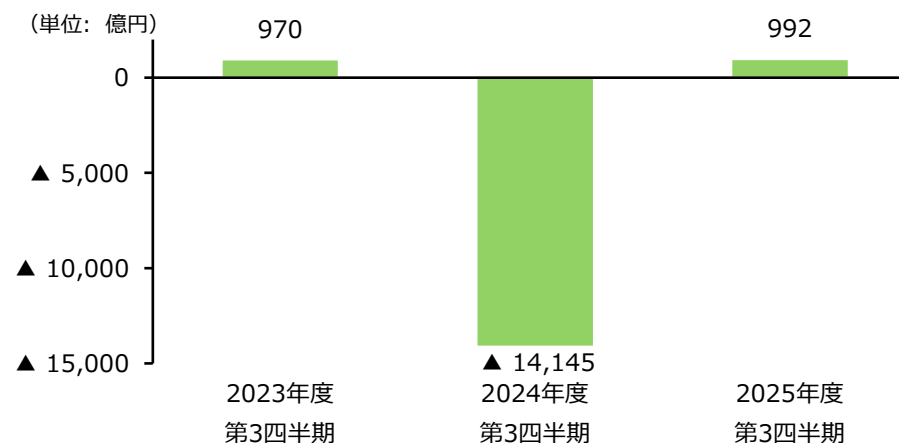
(単位：億円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
1 経常収益	15,610	16,842	1,232
2 うち資金運用収益	12,719	13,350	631
3 (有価証券利息配当金)	7,863	8,880	1,016
4 (貸出金利息)	3,278	3,410	131
5 経常費用	29,408	15,868	▲ 13,540
6 うち資金調達費用	18,061	13,023	▲ 5,037
7 (信連等調達費用)	2,463	3,264	801
8 うち事業管理費	1,368	1,319	▲ 49
9 経常利益又は経常損失(▲)	▲ 13,798	974	14,772
10 税引前純利益又は税引前純損失(▲)	▲ 13,750	965	14,715
11 親会社株主帰属純利益又は純損失(▲)	▲ 14,145	992	15,137

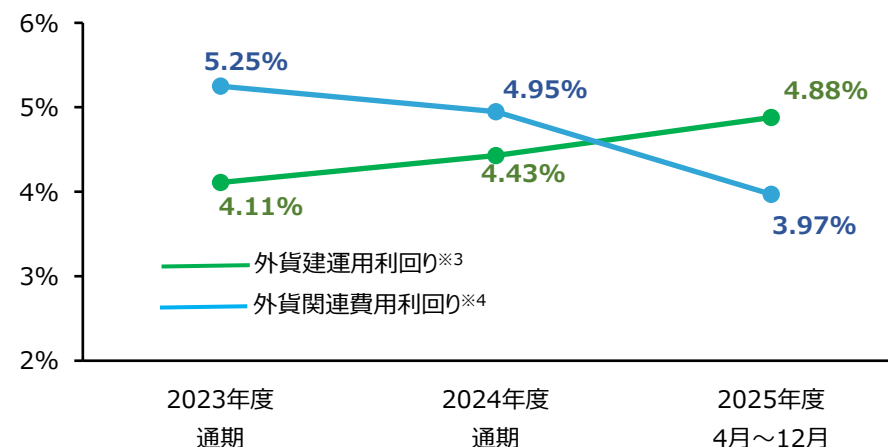
【単体】

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
12 経常利益又は経常損失(▲)	▲ 13,951	1,581	15,532
13 純利益又は純損失(▲)	▲ 14,235	1,669	15,904
【参考値(単体)】			
14 有価証券売却損益	▲ 7,051	945	7,997
15 投資信託解約損益および 金銭の信託内売却損益	▲ 2,636	27	2,663
16 与信関係費用(▲)※2	130	2	▲ 127
17 有価証券償却(▲)※2	88	2	▲ 85

■ 純利益の推移 (連結)



■ 参考：外貨建て運用・調達の状況



※1 持分法適用の関連会社であるJA三井リースの第3四半期決算における損失について、当金庫では持分法投資損失523億円として一過性の損失を経常費用に計上

※2 与信関係費用、有価証券償却のマイナス(▲)は戻入 ※3 外貨建有価証券(売却損益を除く)および外貨建貸出金 ※4 オフバランス取引含む

- 総資産残高は、前年度末から概ね横ばい推移
- 純資産残高は、その他有価証券評価損益の改善により前年度末比増加

【連結】

(単位：億円)

	2025年3月末	2025年12月末	増減
1 貸出金	181,586	211,691	30,105
2 有価証券	313,151	350,713	37,562
3 金銭の信託	79,350	72,517	▲ 6,833
4 現金預け金	207,450	149,469	▲ 57,981
5 その他	53,449	64,698	11,248
6 資産の部合計	834,988	849,090	14,101
7 預金等 ^{※1}	585,259	573,266	▲ 11,992
8 農林債	4,498	6,273	1,775
9 売現先勘定	56,647	72,903	16,255
10 その他	141,429	143,339	1,910
11 負債の部合計	787,834	795,783	7,948
12 純資産の部合計	47,154	53,306	6,152

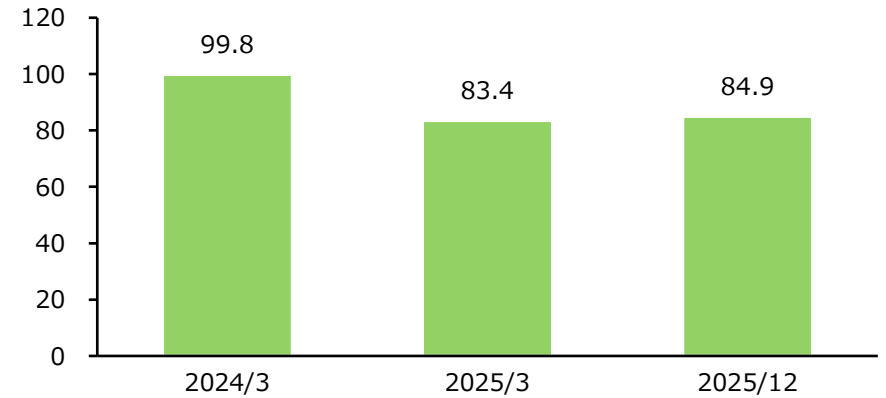
※1 預金等は会計上の預金および受託金。受託金は会員からの短期資金受入が大宗

【単体】

	2025年3月末	2025年12月末	増減
13 資産の部合計	795,599	806,861	11,262
14 負債の部合計	752,192	756,380	4,187
15 純資産の部合計	43,406	50,481	7,074
16 その他有価証券評価損益	▲ 5,500	127	5,628

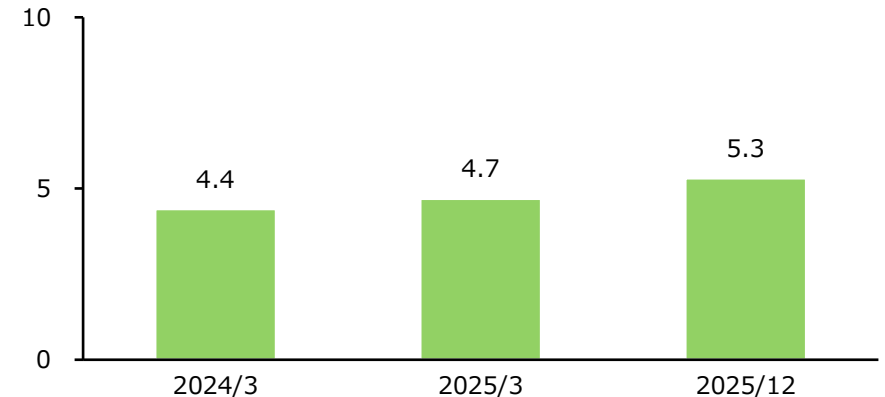
■ 総資産の推移 (連結)

(単位：兆円)



■ 純資産の推移 (連結)

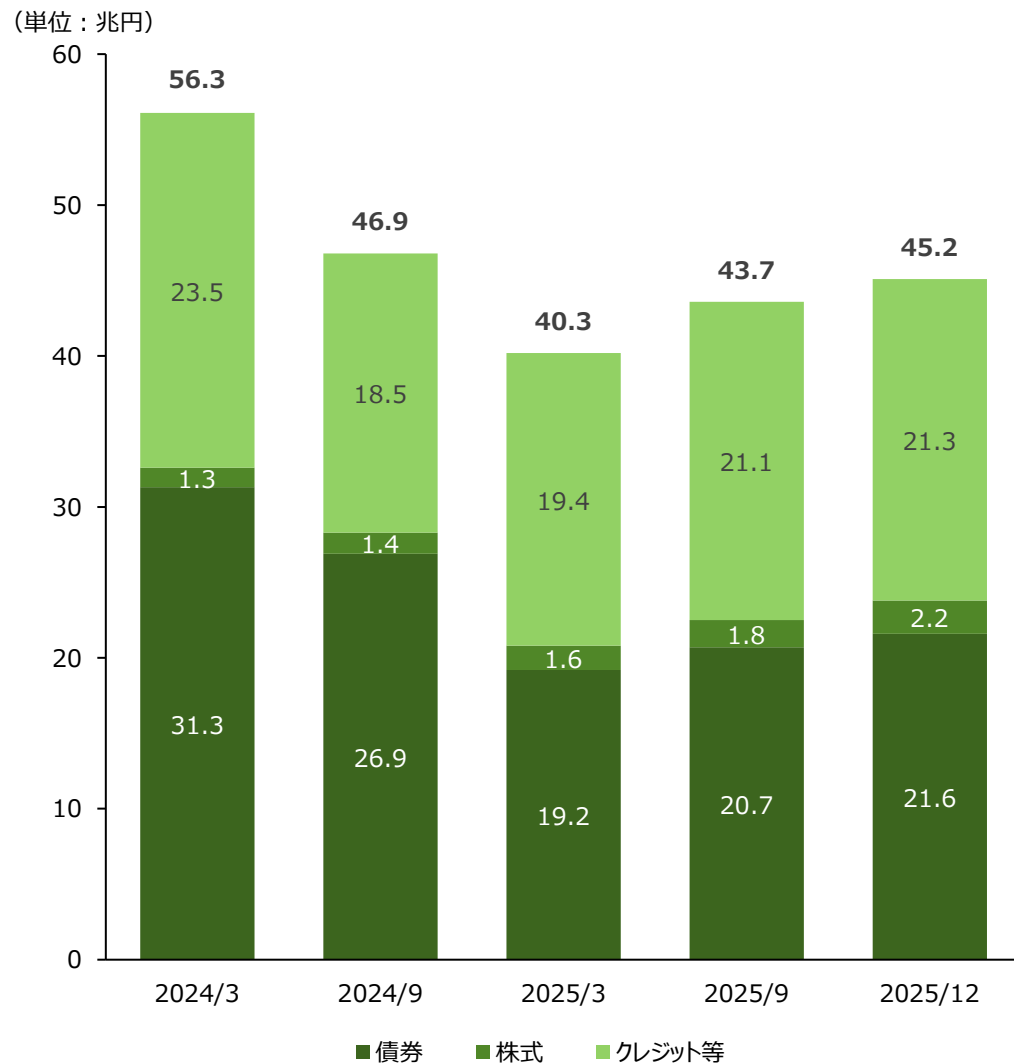
(単位：兆円)



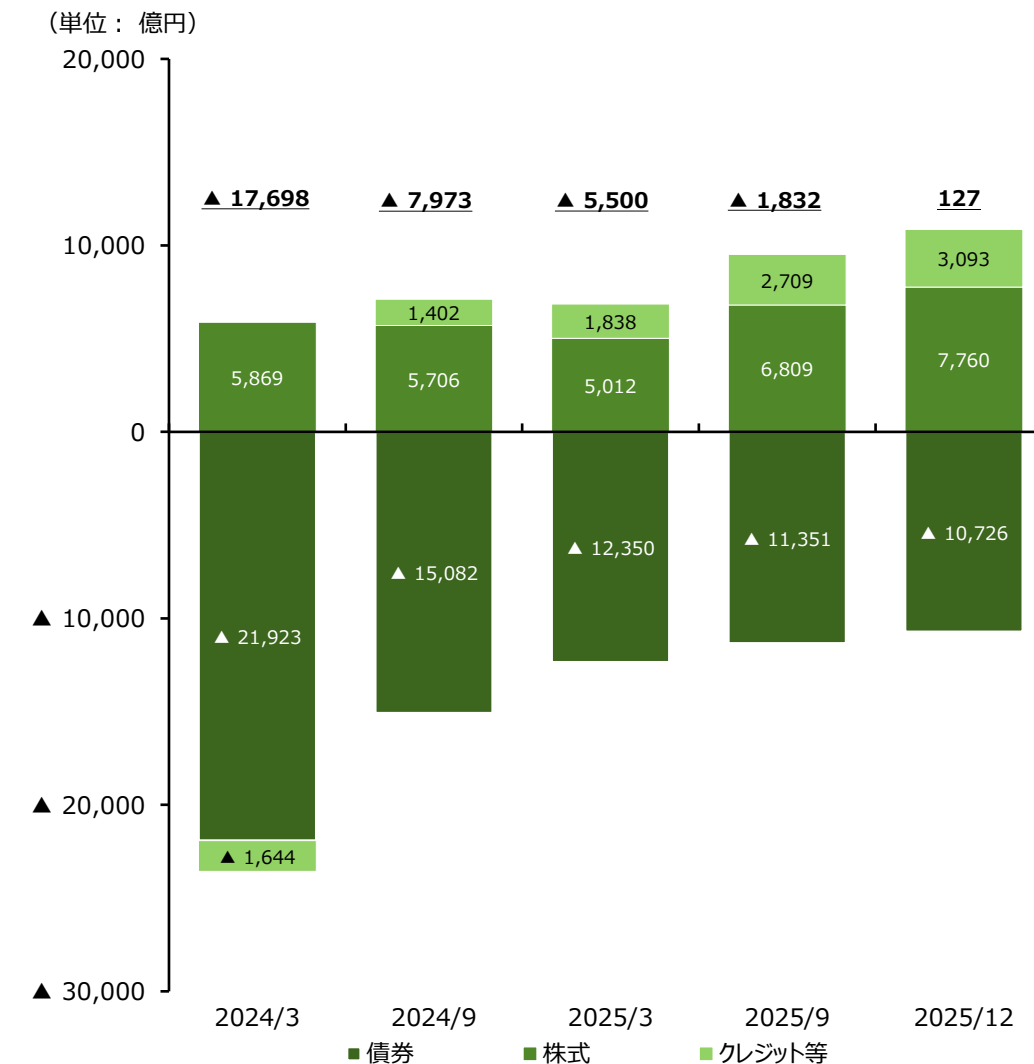
市場運用資産の状況（単体ベース）

- 市場運用資産残高は、慎重に新規投融資を進めるなか、前年度末比増加
- 有価証券評価損益は、債券・株式・クレジット資産いずれも前年度末比改善し、全体では約0.5兆円改善

■ 市場運用資産の残高推移



■ 有価証券評価損益の推移



- 自己資本比率は、強固な健全性を維持

■ 自己資本比率（バーゼルⅢ最終化ベース）

【連結】

（単位：億円）

	2025年3月末	2025年12月末	増減
1 Tier1	51,279	58,501	7,222
2 普通出資等Tier1 (CET1)	46,213	53,019	6,806
3 その他Tier1	5,066	5,482	416
4 Tier2	6,870	6,683	▲186
5 総自己資本	58,149	65,185	7,036
6 リスク・アセット	260,956	295,317	34,361
7 普通出資等Tier1比率 (CET1比率)	17.70%	17.95%	0.25%
8 Tier1比率	19.65%	19.80%	0.15%
9 総自己資本比率	22.28%	22.07%	▲0.21%

■ その他規制比率

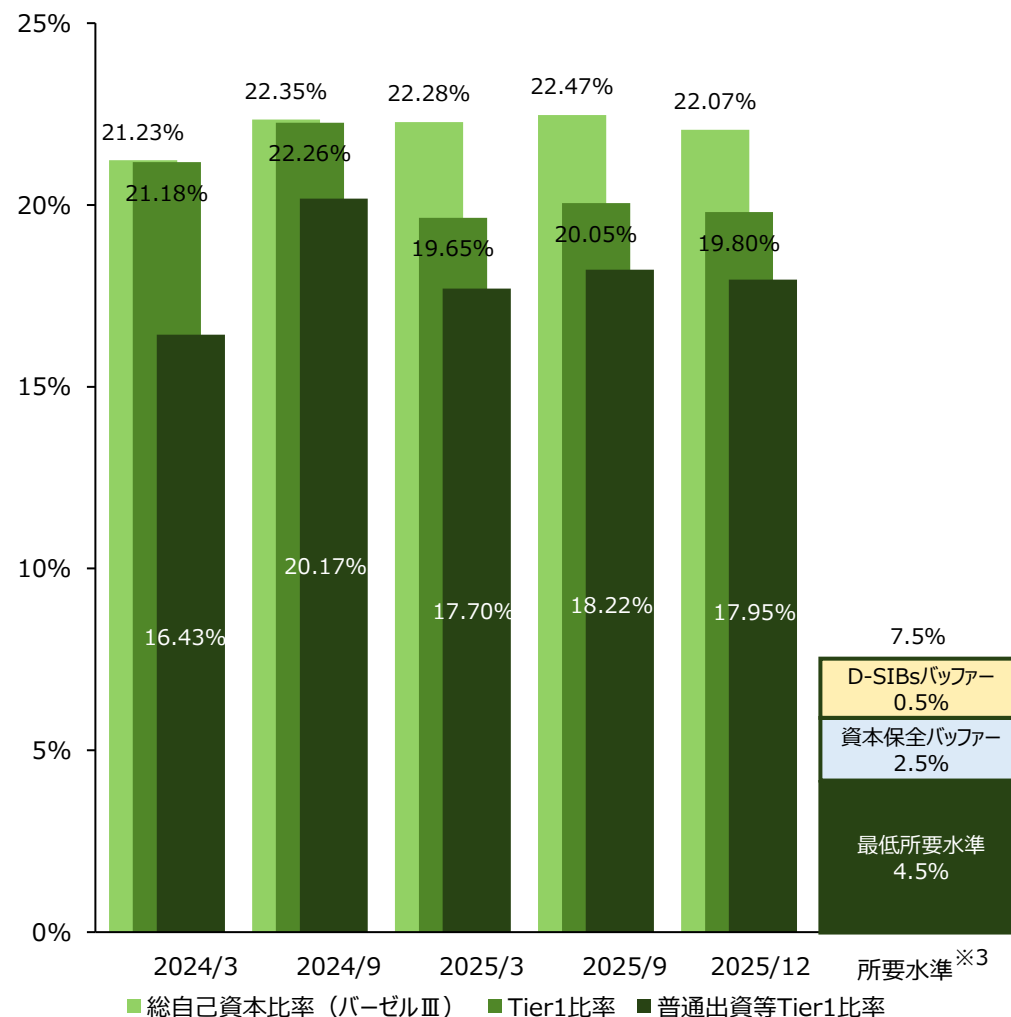
	2025年12月末	所要水準
10 連結レバレッジ比率 ^{※1}	8.06%	3.15%
11 連結流動性カバレッジ比率 ^{※2}	191.8%	100%
12 連結安定調達比率	125.6%	100%

※1 総エクスポージャーの額より日本銀行に対する預け金を除外して算出

※2 対象四半期の平均値

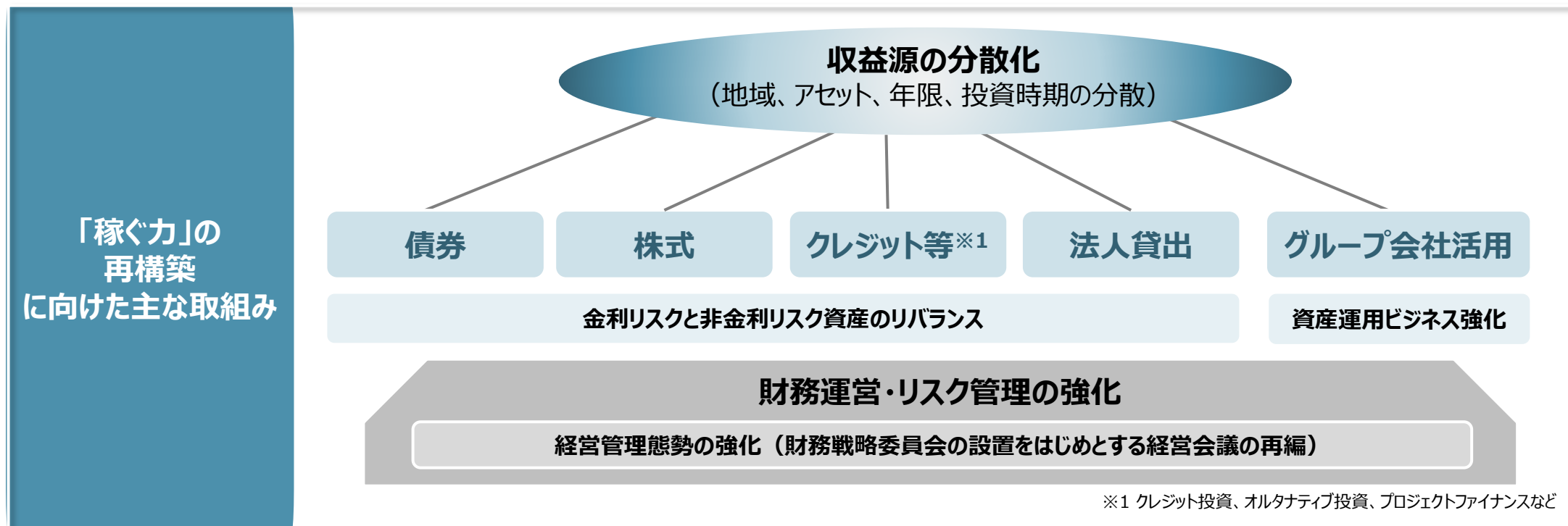
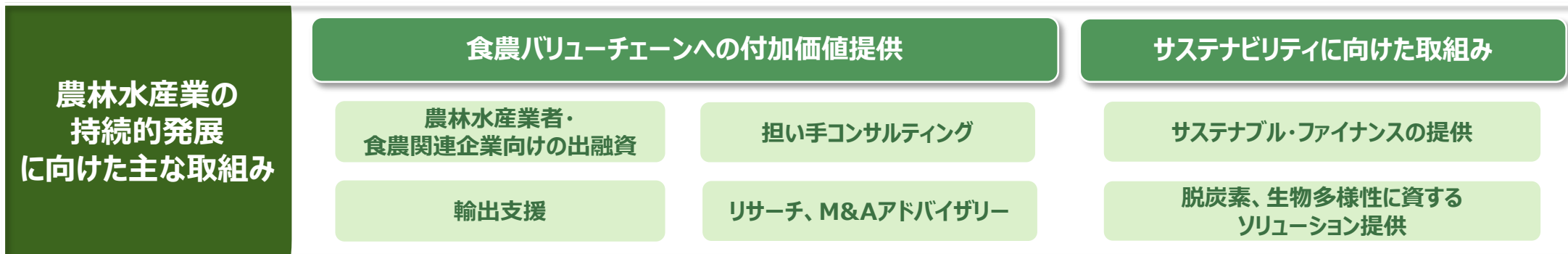
※3 最低所要水準(4.5%) + 資本保全バッファ(2.5%) + D-SIBsバッファ(0.5%)、カウンターシクリカルバッファは控除

■ 自己資本比率および所要水準



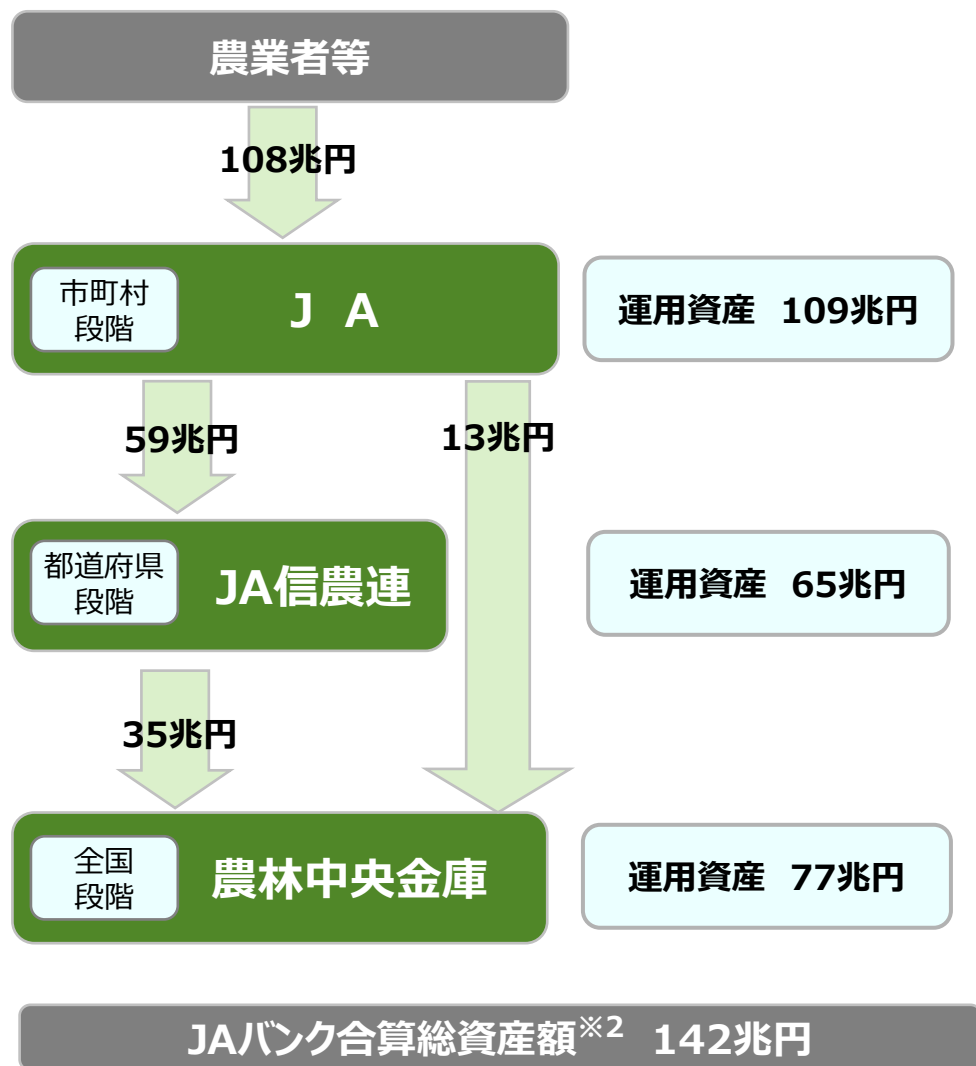
Appendix

- 「農林水産業の持続的発展」と「稼ぐ力の再構築」に向けて、食農バリューチェーンへの付加価値提供、サステナビリティ、収益源の分散化とそれを支える財務運営・リスク管理の強化の取り組みを進展



※1 クレジット投資、オルタナティブ投資、プロジェクトファイナンスなど

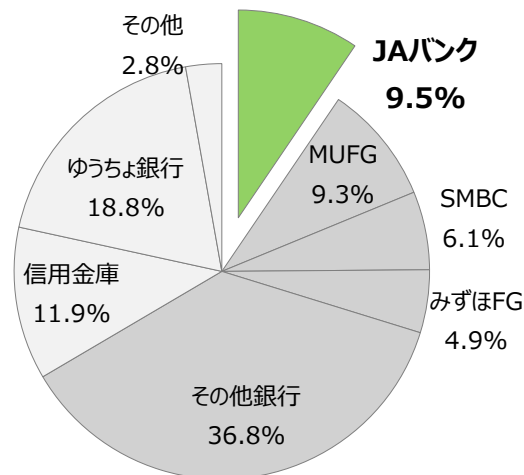
■ JAバンクにおける預貯金等※1の流れ (2025年12月末)



※1 預貯金等は受託金含む

※2 合算総資産額：運用資産－預貯金等

■ 国内個人預貯金残高シェア (2025年3月末)

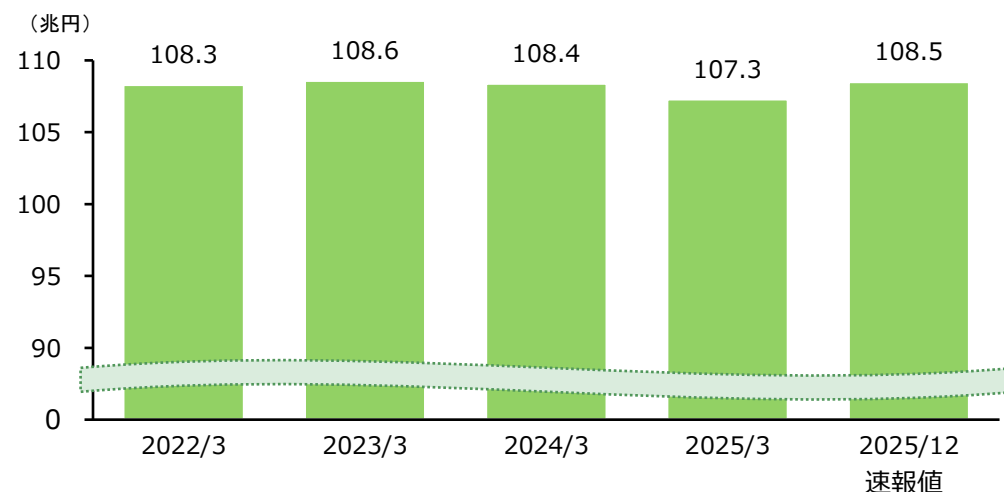


個人預貯金合計 1,007兆円

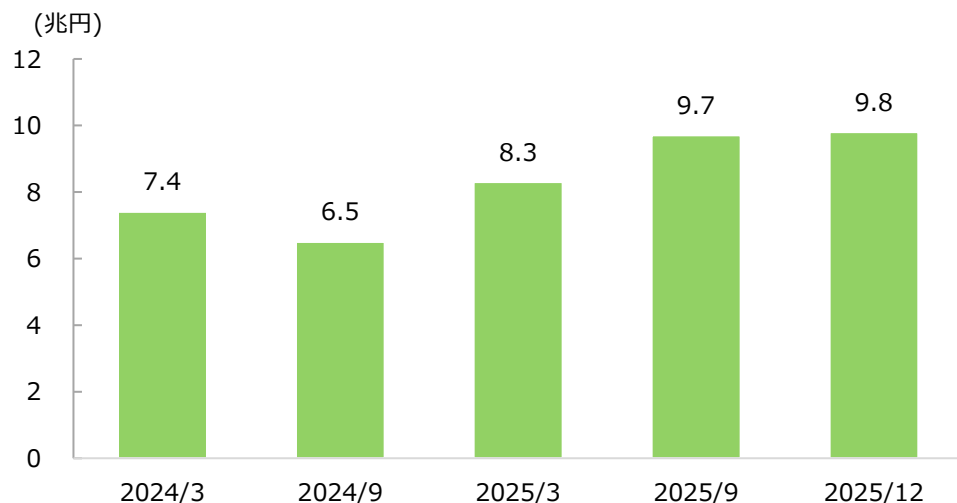
出所：
日本銀行資料、各金融機関の決算説明資料
をもとに農林中央金庫作成
JAバンク、国内銀行及び信用金庫の残高は個人預貯金、ゆうちょ銀行は全貯金額

※四捨五入のため、各数値の合計が100%とならない場合があります

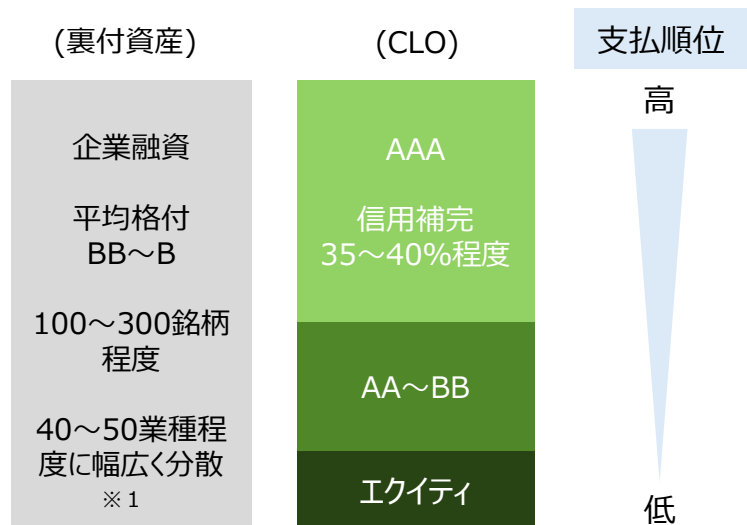
■ JA貯金残高の推移



■ 投資資産の残高



■ 典型的なストラクチャーの例



※1 格付機関1社の業種分類を基にした参考例。業種分類の定義は各格付機関毎に異なる。

■ 投資にあたっての分析・リスク管理

投資対象	<ul style="list-style-type: none"> AAA格に限定
裏付資産	<ul style="list-style-type: none"> 組入可能資産についての厳格な基準設定 裏付資産内の個別銘柄・業種の分析
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> 信用補完水準等についての独自ガイドライン 当金庫独自の厳格なストレステスト ミドル部門による全件審査
運用マネージャーの選定	<ul style="list-style-type: none"> 投資前のデューデリジェンスを通じた、運用能力・投資スタンスの確認
投資後のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> マネージャーとの綿密なコミュニケーション 投資ガイドライン遵守状況、運用方針、裏付資産の質等の確認

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する予想、見込み、見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。当金庫は、これらの記述に対する更新の義務を負いません。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。